

F S Cグループ認証監査規定第5条に基づき、監査を行いましたので、報告します。

記

1. 各メンバーの森林管理状態のチェック

| | | | | |
|---------|-----|-----|----|------------|
| 美幌町森林組合 | ・・・ | 20名 | 面積 | 971.31ha |
| 美幌町 | ・・・ | 1名 | 面積 | 822.80ha |
| (株)新宮商行 | ・・・ | 1名 | 面積 | 1,234.04ha |

【意見書】

各メンバーとも森林管理方針・森林管理計画書に基づき適正に管理していることを確認する。

2. 各メンバーの森林施業内容のチェック

【意見書】

各メンバーとも森林施業計画を樹立しているものであり、森林施業規準に基づくと共に、森林認証(グループ)参加協定書のとおり、実施されていることを確認した。

3. チェックリストを用いたチェック

【意見書】

グループメンバー美幌町森林組合(伊藤山林)・美幌町・の2者が実施されました。環境影響評価表及び森林施業後のモニタリング用チェックリストに基づき監査した結果、森林管理方針に基づき環境・社会・経済等に考慮し適正に実施されていることを確認した。

平成19年 8月30日

グループ認証管理責任者

美幌町森林組合
代表理事組合長 太田 勝也 様

監 査 者

美幌町森林組合 参事 影山 健三

美幌町 耕地林務主幹 澤 畠 雅俊

(株)新宮商行 山林事業部長 竹川 和也



監査チェックリスト

作成 平成16年10月15日管理責任者承認

※ 監査年月日
平成19年 8月30日

| | |
|-------|---|
| メンバー名 | 美幌町森林組合 |
| 監査員名 | 美幌町 (株)新宮商行 参事 影山 健三 耕地林務主幹 澤島 雅俊 山林事業所長 竹川 和也 |

チェック項目

- 1 国内法を守り森林管理をしているか。
- 2 政府及び地方行政に対し、税金または料金を全て支払っているか。
- 3 国際的取り決めを守っているか。
- 4 不法伐採等の違法な行為を行っていないか。
- 5 森林管理方針に基づき実施されているか。
- 6 間伐・主伐等の実施については、各手続きが取られているか。
- 7 土地所有の台帳が整備されているか。
- 8 資格リストが作成され、免許のコピーが保管されているか。
- 9 安全作業心得及び作業の安全手順が整っているか。
- 10 労働安全衛生委員会が実施されているか。
- 11 救急箱が整理されているか。
- 12 作業チームの班長は、森林資源への影響を最小化するためにミーティングを行っているか。
- 13 収穫時の利用材及び残材の取扱いについて、収穫マニュアル通りに実施されているか。
- 14 地域社会に配慮した管理計画を実施しているか。
- 15 地域からの苦情はあるか。
- 16 森がもたらす様々な資源を最大限に利用しているか。
- 17 森からの生産物を収穫しすぎることなく、適正に収穫が実施されているか。
- 18 環境影響軽減マニュアルに基づき、環境評価を間伐・主伐等の作業前に実施しているか。
- 19 貴重な植物を守り作業が実施されているか。
- 20 環境的機能の維持に必要な生物多様性を確保するために、必要に応じた天然林の保全に努めているか。
- 21 自然環境に優れた保護をしているか。
- 22 森林施業ガイドラインによるモニタリング用チェックリストの基で実施されているか。
- 23 廃棄物及び化学物質の容器等の処理方法は、手順書の通り実施されているか。
- 24 植栽については、土地に合った樹種を選定しているか。
- 25 人工林の形成が自然の森に影響を及ぼさないように、森林管理がされているか。
- 26 森林管理を行う区域の自然生態系は、配慮されているか。

※ 監査講評及び指摘事項

● 環境影響評価及び森林施業後のモニタリングようチェックリストに基づき、除間伐1件を監査した結果、森林管理方針に基づき環境・社会・経済等に考慮し適正に実施されていることを確認しました。

平成19年8月30日

監査チーム

影山 健三
澤島 雅俊
竹川 和也



森林施業後のモニタリング用チェックリスト

作成 平成16年10月15日理事会承認

調査地 美幌町字 古柳 調査年月日 平成19年6月29日

調査林小班 38林班 70小班 調査員 山本照良 ㊟

承認者 伊藤徳子 ㊟

事業種目 主伐(皆伐)・間伐・造林

◎ 立木の伐採(主伐)に関するチェック

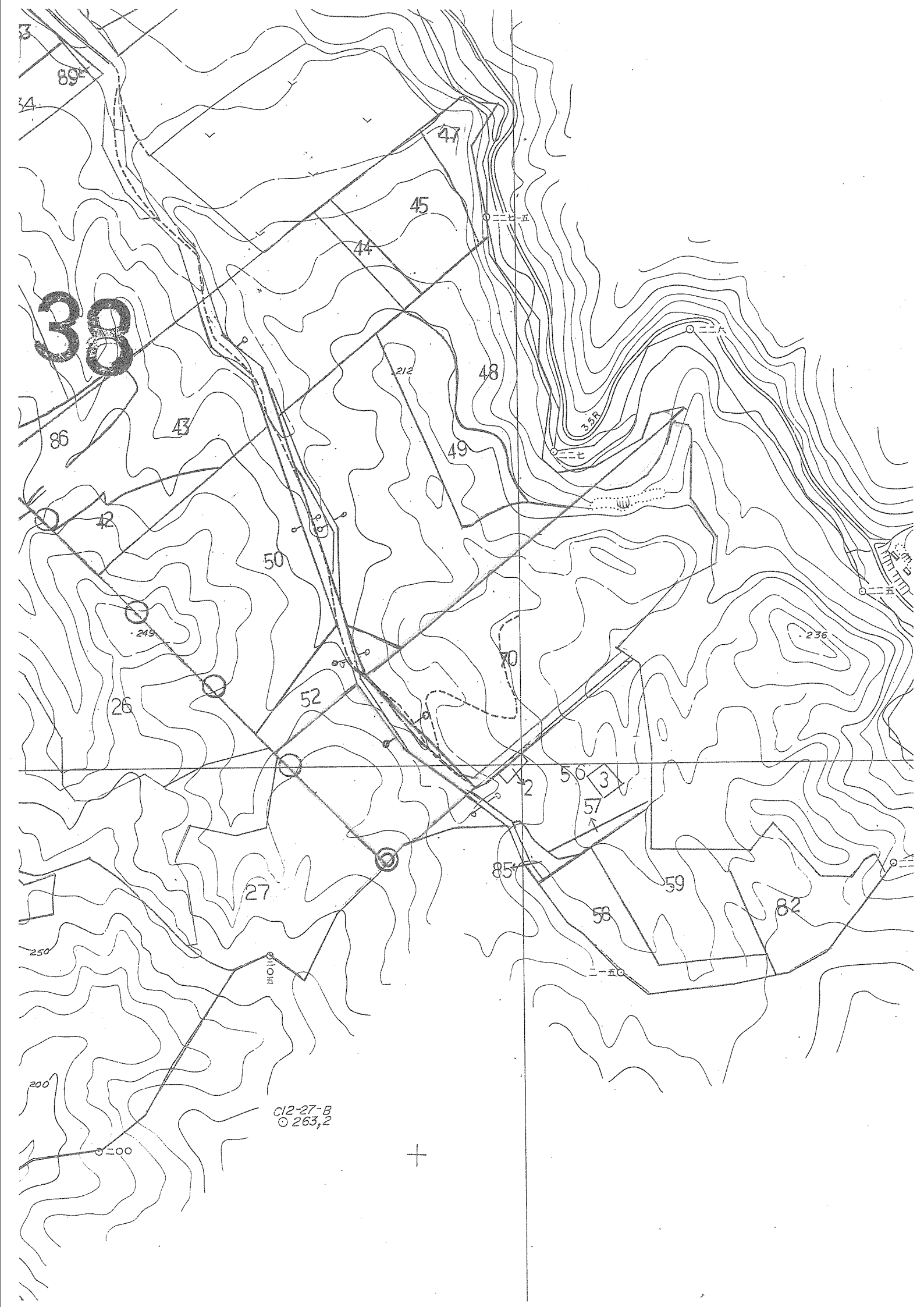
- | | |
|--|-----|
| 1、伐採したことによって、多面的な機能が失われていないか | 良・否 |
| 2、伐採したことによって、気候・地形・土壌等の自然的条件は大丈夫か | 良・否 |
| 3、森林に対する社会的要請及びクレームはないか | 良・否 |
| 4、木材の生産動向等を十分に考慮しているか | 良・否 |
| 5、主伐面積は、関係法令の範囲内であったか | 良・否 |
| 6、林業技術体系等から見て適正であったか | 良・否 |
| 7、急傾斜地等で、土砂の流出・崩壊・洪水・水質の汚染等が無かったか | 良・否 |
| 8、各種被害の防止及び風致の維持等の必要はなかったか (ある場合、保護樹帯を設置する) | 良・否 |
| 9、残材の取扱いは適正に処理されたか | 良・否 |

◎ 間伐及び保育に関するチェック

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| 1、標準的な林齢での間伐であったか | 良・否 |
| 2、森林・林分の保育促進を図るための間伐であったか | 良・否 |
| 3、間伐木の利用がされたか | 良・否 |
| 4、間伐を実施すべき標準的な林齢、方法が適正であったか | 良・否 |
| 5、防災的な見地から見て、林地崩壊や流木被害等が無かったか | 良・否 |
| 6、伐倒木・林地残材が、河川に流出が無かったか | 良・否 |
| 7、急傾斜地等で、土砂の流出・崩壊・洪水・水質の汚染等が無かったか | 良・否 |
| 8、残材の取扱いは適正に処理されたか | 良・否 |

◎ 人工造林に関するチェック

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 1、苗木の選定については、適地適木であったか | 良・否 |
| 2、気候・地形・土壌等の自然的条件は大丈夫だったか | 良・否 |
| 3、森林に対する社会的要請及びクレームは無かったか | 良・否 |
| 4、植栽本数は、各計画書の定めに基づき実施したか | 良・否 |
| 5、周囲の人工林の生育状況、気象災害の発生状況等を考慮したか | 良・否 |
| 6、地持ちは地域の地形・土壌・植生・気象条件等の立地環境に考慮したか | 良・否 |
| 7、火入れ地持ちは、防火帯を規定以上にしたか | 良・否 |



38

C12-27-B
O 263,2

+

環境影響評価表

改正 平成17年 8月10日理事会承認
作成 平成16年10月15日理事会承認

調査年月日 平成 19年 5月 9日

<平成 年度 実施予定>

承認者 影山 健三 (印)

| | |
|--|-----------------|
| 事業箇所 美幌町字 石旗 | 林小班 38 林班 70 小班 |
| 樹種 トドマツ 林齢 39 面積 8.68 | 担当者 山本 照良 (印) |
| 1、事業内容が把握されているか。 ① 造林 ② 下刈 ③ 除伐 ④ 間伐 ⑤ 主伐 ⑥ 搬出 | |
| 2、事業箇所の境界が明確になっているか。 ① 明確である ② 明確でない ③ どちらでもない | |
| 3、作業手段は決定されているか。 使用機械 : ブリコ、草刈り機 施工者名 : 北見工務所 人員配置 : | |
| 4、使用する機械は正常な常態か。 ① 正常である ② 正常でない | |
| 5、現地までの作業路の状態はどうか。 ① 良 ② 否 | |
| 6、林内の生物多様性の確保に問題はないか。 ① 問題ない ② 問題ある ③ どちらでもない | |
| 7、事業箇所及び隣接して河川がある場合、作業を行う事により土砂が流れ込む恐れはないか。 ① ない ② ある ③ 河川事態がない | |
| 8、作業路上で機械を使用する場合、路面・路肩を傷めることはないか。 ① ない ② ある | |
| 9、機械等からオイル漏れが発生した場合、対応策は考えられているか。 ① 考えている ② 考えていない | |
| 10、木材を搬出する時に、残存木を傷めることはないか。 ① ない ② ある ③ どちらでもない | |
| 11、伐採した木材は可能な限り搬出できるか。 ① できる ② できない | |

問題点に対する処置手順

- 1 問題点が特定された場合には、現場で処置できるものについては処置し、承認者に文書にて報告すること。
- 2 境界など土地所有者から依頼があった場合には、土地所有者同士が直接解決するものであるが土地所有者から依頼があった場合には必ず承認者の承認を得た後対応すること。
- 3 上記の事項に該当しない事項についての問題が生じた場合は、文書にて承認者に提出し、承認を得た後対応すること。

環境影響評価処置報告書

| | |
|------------------------|--------------------------------------|
| 事業箇所 美幌町字 林小班 林班 小班 | 報告年月日 平成 年 月 日 報告者 (印) 承認者 (印) |
| | |

監査チェックリスト

※ 監査年月日
平成19年 8月30日

| | |
|-------|--|
| メンバー名 | 美 幌 町 |
| 監査員名 | 美幌町森林組合 参事 影山 健三 美幌町 耕地林務主幹 澤 畠 雅俊 (株)新宮商行 山林事業所長 竹 川 和也 |

チェック項目

- 1 国内法を守り森林管理をしているか。
- 2 政府及び地方行政に対し、税金または料金を全て支払っているか。
- 3 国際的取り決めを守っているか。
- 4 不法伐採等の違法な行為を行っていないか。
- 5 森林管理方針に基づき実施されているか。
- 6 間伐・主伐等の実施については、各手続きが取られているか。
- 7 土地所有の台帳が整備されているか。
- 8 資格リストが作成され、免許のコピーが保管されているか。
- 9 安全作業心得及び作業の安全手順が整っているか。
- 10 労働安全衛生委員会が実施されているか。
- 11 救急箱が整理されているか。
- 12 作業チームの班長は、森林資源への影響を最小化するためにミーティングを行っているか。
- 13 収穫時の利用材及び残材の取扱いについて、収穫マニュアル通りに実施されているか。
- 14 地域社会に配慮した管理計画を実施しているか。
- 15 地域からの苦情はあるか。
- 16 森がもたらす様々な資源を最大限に利用しているか。
- 17 森からの生産物を収穫しすぎることなく、適正に収穫が実施されているか。
- 18 環境影響軽減マニュアルに基づき、環境評価を間伐・主伐等の作業前に実施しているか。
- 19 貴重な植物を守り作業が実施されているか。
- 20 環境的機能の維持に必要な生物多様性を確保するために、必要に応じた天然林の保全に努めているか。
- 21 自然環境に優れた保護をしているか。
- 22 森林施業ガイドラインによるモニタリング用チェックリストの基で実施されているか。
- 23 廃棄物及び化学物質の容器等の処理方法は、手順書の通り実施されているか。
- 24 植栽については、土地に合った樹種を選定しているか。
- 25 人工林の形成が自然の森に影響を及ぼさないように、森林管理がされているか。
- 26 森林管理を行う区域の自然生態系は、配慮されているか。

※ 監査講評及び指摘事項

- 環境影響評価及び森林施業後のモニタリング用チェックリストに基づき、下刈2件を監査した結果、森林管理方針に基づき環境・社会・経済等に考慮し適正に実施されていることを確認しました。

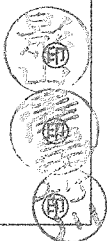
平成19年 8月30日

監査チーム

影 山 健 三

澤 畠 雅 俊


竹 川 和 也




環境影響評価表

改正 平成17年 8月10日理事会承認
作成 平成16年10月15日理事会承認

調査年月日 平成19年 6月11日

承認者 ㈱林業 澤 島 雅 俊 



＜平成 19年度 実施予定＞

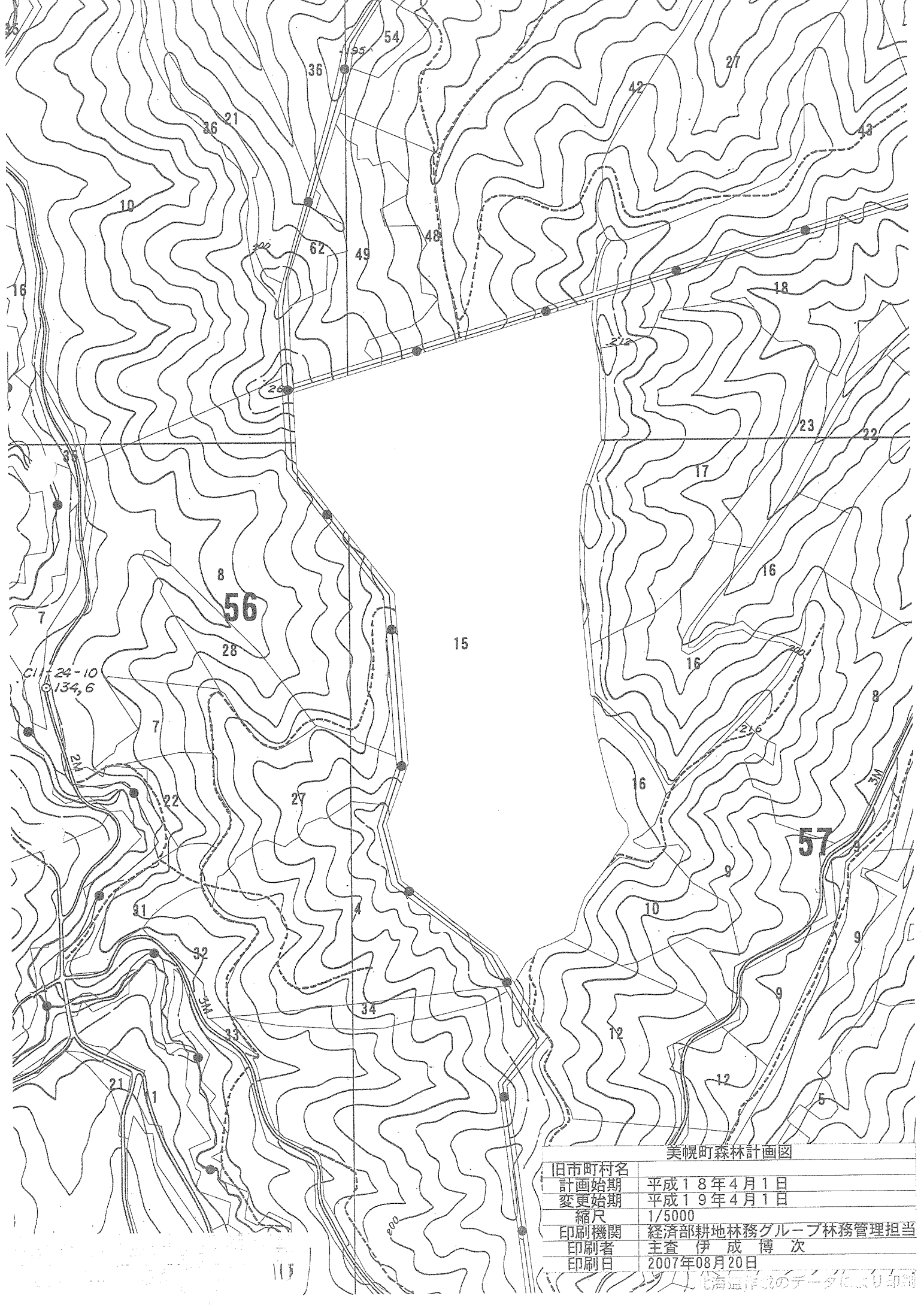
| | |
|---|---|
| 事業箇所 美幌町字 古 梅 | 林小班 57 林班 15 小班 |
| 樹種 カラマツ 林齢 4 面積 16.52ha | 担当者 ㈱林業 伊 成 博 次  |
| 1、事業内容が把握されているか。 ① 造林 ② <u>下刈</u> ③ 除伐 ④ 間伐 ⑤ 主伐 ⑥ 搬出 | |
| 2、事業箇所の境界が明確になっているか。 ① <u>明確である</u> ② 明確でない ③ どちらでもない | |
| 3、作業手段は決定されているか。 使用機械 : 刈 払 機 人員配置 : 14名 施工者名 : 美幌町森林組合 | |
| 4、使用する機械は正常な常態か。 ① <u>正常である</u> ② 正常でない | |
| 5、現地までの作業路の状態はどうか。 ① <u>良</u> ② 否 | |
| 6、林内の生物多様性の確保に問題はないか。 ① <u>問題ない</u> ② 問題ある ③ どちらでもない | |
| 7、事業箇所及び隣接して河川がある場合、作業を行う事により土砂が流れ込む恐れはないか。 ① <u>ない</u> ② ある ③ 河川事態がない | |
| 8、作業路上で機械を使用する場合、路面・路肩を傷めることはないか。 ① <u>ない</u> ② ある | |
| 9、機械等からオイル漏れが発生した場合、対応策は考えられているか。 ① <u>考えている</u> ② 考えていない | |
| 10、木材を搬出する時に、残存木を傷めることはないか。 ① ない ② ある ③ どちらでもない | |
| 11、伐採した木材は可能な限り搬出できるか。 ① <u>できる</u> ② できない | |

問題点に対する処置手順

- 1 問題点が特定された場合には、現場で処置できるものについては処置し、承認者に文書にて報告すること。
- 2 境界など土地所有者から依頼があった場合には、土地所有者同士が直接解決するものであるが土地所有者から依頼があった場合には必ず承認者の承認を得た後対応すること。
- 3 上記の事項に該当しない事項についての問題が生じた場合は、文書にて承認者に提出し、承認を得た後対応すること。

環境影響評価処置報告書

| | |
|------------------------|--|
| 事業箇所 美幌町字 林小班 林班 小班 | 報告年月日 平成 年 月 日 報告者  承認者  |
| | |




美幌町森林計画図

| | |
|-------|-------------------|
| 旧市町村名 | |
| 計画始期 | 平成18年4月1日 |
| 変更始期 | 平成19年4月1日 |
| 縮尺 | 1/5000 |
| 印刷機関 | 経済部耕地林務グループ林務管理担当 |
| 印刷者 | 主査 伊成 博次 |
| 印刷日 | 2007年08月20日 |


環境影響評価表

改正 平成17年 8月10日理事会承認
作成 平成16年10月15日理事会承認

調査年月日 平成19年 6月11日

承認者  林班 澤 島 雅 俊



<平成 19年度 実施予定>

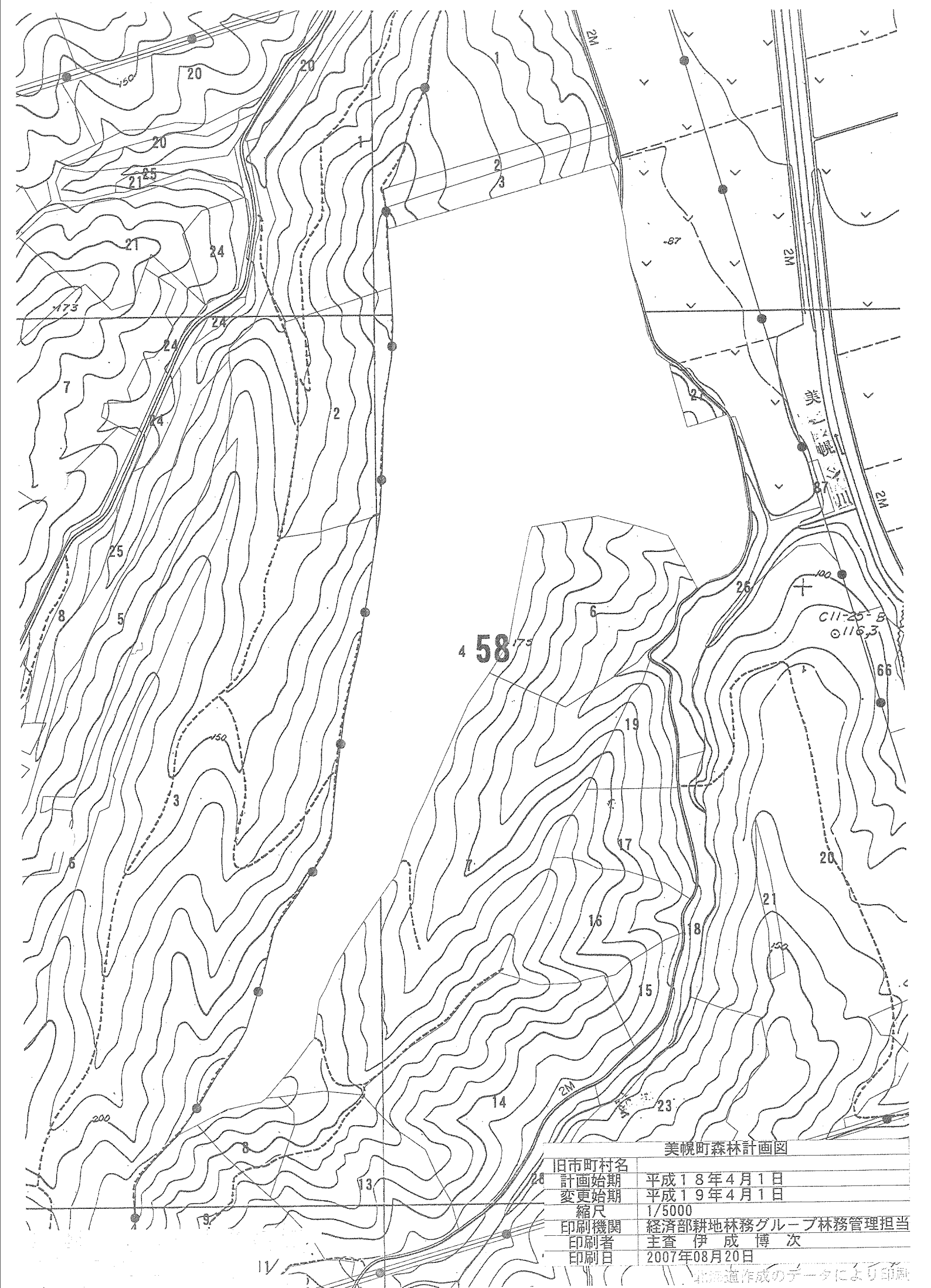
| | |
|--|--|
| 事業箇所 美幌町字 古 梅 | 林小班 5 8 林班 4 小班 |
| 樹種 カラマツ 林齡 5 面積 19.82ha | 担当者 林班 伊 成 博 次  |
| 1、事業内容が把握されているか。 ① 造林 ② 下刈 ③ 除伐 ④ 間伐 ⑤ 主伐 ⑥ 搬出 | |
| 2、事業箇所の境界が明確になっているか。 ① 明確である ② 明確でない ③ どちらでもない | |
| 3、作業手段は決定されているか。 使用機械 : 刈 払 機 人員配置 : 14名 施工者名 : 美幌町森林組合 | |
| 4、使用する機械は正常な常態か。 ① 正常である ② 正常でない | |
| 5、現地までの作業路の状態はどうか。 ① 良 ② 否 | |
| 6、林内の生物多様性の確保に問題はないか。 ① 問題ない ② 問題ある ③ どちらでもない | |
| 7、事業箇所及び隣接して河川がある場合、作業を行う事により土砂が流れ込む恐れはないか。 ① ない ② ある ③ 河川事態がない | |
| 8、作業路上で機械を使用する場合、路面・路肩を傷めることはないか。 ① ない ② ある | |
| 9、機械等からオイル漏れが発生した場合、対応策は考えられているか。 ① 考えている ② 考えていない | |
| 10、木材を搬出する時に、残存木を傷めることはないか。 ① ない ② ある ③ どちらでもない | |
| 11、伐採した木材は可能な限り搬出できるか。 ① できる ② できない | |

問題点に対する処置手順

- 問題点が特定された場合には、現場で処置できるものについては処置し、承認者に文書にて報告すること。
- 境界など土地所有者から依頼があった場合には、土地所有者同士が直接解決するものであるが土地所有者から依頼があった場合には必ず承認者の承認を得た後対応すること。
- 上記の事項に該当しない事項についての問題が生じた場合は、文書にて承認者に提出し、承認を得た後対応すること。

環境影響評価処置報告書

| | |
|--------------------------|--|
| 事業箇所 美幌町字 林 小 班 林班 小班 | 報告年月日 平成 年 月 日 報告者  承認者  |
| | |



環境影響評価表

改正 平成17年 8月10日理事会承認
作成 平成16年10月15日理事会承認

調査年月日 平成19年 6月11日

承認者 榑林榑澤 島 雅 俊

<平成 19年度 実施予定>

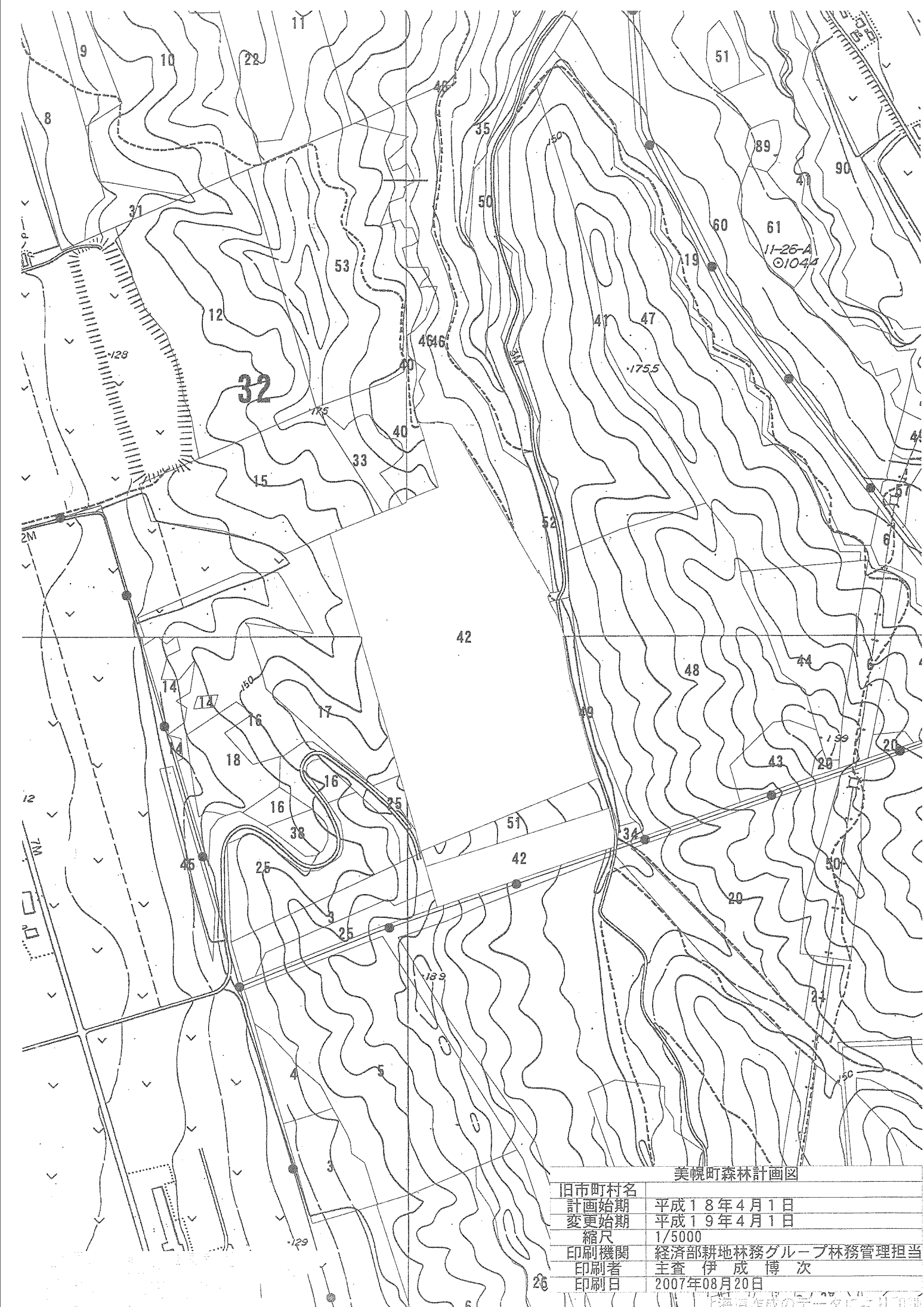
| | |
|--|-----------------|
| 事業箇所 美幌町字 豊富 | 林小班 32 林班 42 小班 |
| 樹種 カラマツ 林齢 52 面積 8.88ha | 担当者 榑榑榑 伊成博次 |
| 1、事業内容が把握されているか。 ① 造林 ② 下刈 ③ 除伐 ④ 間伐 ⑤ 主伐 ⑥ 搬出 | |
| 2、事業箇所の境界が明確になっているか。 ① 明確である ② 明確でない ③ どちらでもない | |
| 3、作業手段は決定されているか。 使用機械 : 高性能林業機械 人員配置 : 6名 施工者名 : 美幌町森林組合 | |
| 4、使用する機械は正常な常態か。 ① 正常である ② 正常でない | |
| 5、現地までの作業路の状態はどうか。 ① 良 ② 否 | |
| 6、林内の生物多様性の確保に問題はないか。 ① 問題ない ② 問題ある ③ どちらでもない | |
| 7、事業箇所及び隣接して河川がある場合、作業を行う事により土砂が流れ込む恐れはないか。 ① ない ② ある ③ 河川事態がない | |
| 8、作業路上で機械を使用する場合、路面・路肩を傷めることはないか。 ① ない ② ある | |
| 9、機械等からオイル漏れが発生した場合、対応策は考えられているか。 ① 考えている ② 考えていない | |
| 10、木材を搬出する時に、残存木を傷めることはないか。 ① ない ② ある ③ どちらでもない | |
| 11、伐採した木材は可能な限り搬出できるか。 ① できる ② できない | |

問題点に対する処置手順

- 問題点が特定された場合には、現場で処置できるものについては処置し、承認者に文書にて報告すること。
- 境界など土地所有者から依頼があった場合には、土地所有者同士が直接解決するものであるが土地所有者から依頼があった場合には必ず承認者の承認を得た後対応すること。
- 上記の事項に該当しない事項についての問題が生じた場合は、文書にて承認者に提出し、承認を得た後対応すること。

環境影響評価処置報告書

| | |
|------------------------|------------------------------|
| 事業箇所 美幌町字 林小班 林班 小班 | 報告年月日 平成 年 月 日 報告者 承認者 |
| | |



美幌町森林計画図

| | |
|-------|-------------------|
| 旧市町村名 | |
| 計画始期 | 平成18年4月1日 |
| 変更始期 | 平成19年4月1日 |
| 縮尺 | 1/5000 |
| 印刷機関 | 経済部耕地林務グループ林務管理担当 |
| 印刷者 | 主査 伊成 博次 |
| 印刷日 | 2007年08月20日 |

北海道作成のデータにより印刷